

CAUA FORUM2018 @CTC Future Factory DEDIMA

アクティブラーニング型授業 の目指すもの

～大学&社会で力強く活躍するために

平成30年7月6日（金）

桐蔭学園 佐藤 透

satohru@toin.ac.jp

変化する社会...

少子高齢化

知識基盤社会

グローバル

AI...

桐蔭学園が目指すもの

20年後

自然を愛し、
平和を愛する
国際人として
の活躍！

6年後
大学入学

10年後
社会人へ



教育⇒未来を生きる生徒のため

現場の教育実践・授業実践を
将来の社会と重ねて考える



生徒が身につけるべき学力を
将来の社会・仕事に繋げて考える



今までの授業などでこれからの社会
で求められている力を育めるの??

学力の氷山モデル

知識・技能＝見える学力

思考力・判断力・表現力等
＝見えにくい学力

学びに向かう力・人間性等
＝見えない学力

新学習指導要領～3つの柱

育成を目指す資質・能力の三つの柱

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

アクティブラーニングを通じた高大連携

高校 = 教育・研究

アクティブラーニング
トランジションリレー

大学 = 研究・教育

社会 = 生活

学びと成長を見据えた
高大接続・高大連携

なぜAL型授業なのか

そもそも桐蔭学園がAL型授業の導入を核にした教育改革・授業改革に乗り出した理由は・・・

⇒ **学校から社会への**

トランジション課題の解決のため

【背景—社会の変化】

そのための**新しい「学び」**が中高段階でも求められている→**AL型授業へ**

桐蔭学園教育改革の展開

① プレ授業改革 2014年4月～
学園創立50周年
※2014年10月のこと

② AL型授業導入 2015年4月～
第Ⅰ期：中1・中等1&高1・中等4
溝上慎一先生が教育顧問に

③ AL型授業導入 2016年4月～
第Ⅱ期：中2・中等2&高2・中等5
★AL入試導入

桐蔭学園教育改革の展開

④AL型授業導入 2017年4月～
第Ⅲ期：中3・中等3&高3・中等6
※教育企画室・経営企画室始動

⑤高校（高入生）完全共学化
2018年4月～

⑥中等教育学校完全共学化（予定）
2019年4月～

ここまでの実践から見えてきた AL型授業のポイント

AL（アクティブラーニング）とは

一方的な知識伝達型講義を聴くという（受動的）学習を乗り越える意味での、あらゆる能動的な学習のこと。能動的な学習には、書く・話す・発表するなどの活動への関与と、そこで生じる認知プロセスの外化を伴う。

（京都大学 溝上慎一教授）

AL型授業の組織的推進～全教科で



講義＋講義

演習

講義＋アクティブラーニング（AL）＝**アクティブラーニング型**

授業（AL型授業）

ペアワーク・グループワーク

前に出て発表そして振り返り

AL型授業のポイント

授業デザイン・学習デザインという発想

目の前の生徒の10年後、20年後・・・イメージ

★どんな力を身に付けて巣立って行ってほしいか
その力をいつどこでだれがどのように・・・

目標・・・

?

・・・生徒の分析

⇒これまでの授業 & 指導の見直し

これまでの授業の経験 & 知識・技術を土台に

「授業のどこを生徒に任せようか・・・？」

AL型授業デザインのポイント

★基本授業構成は？

講義X ⇒ 内化(個a) ⇒ 外化(協働) ⇒ 講義Y ⇒ 内化(個A)

個人での思考
「わかったつもり」

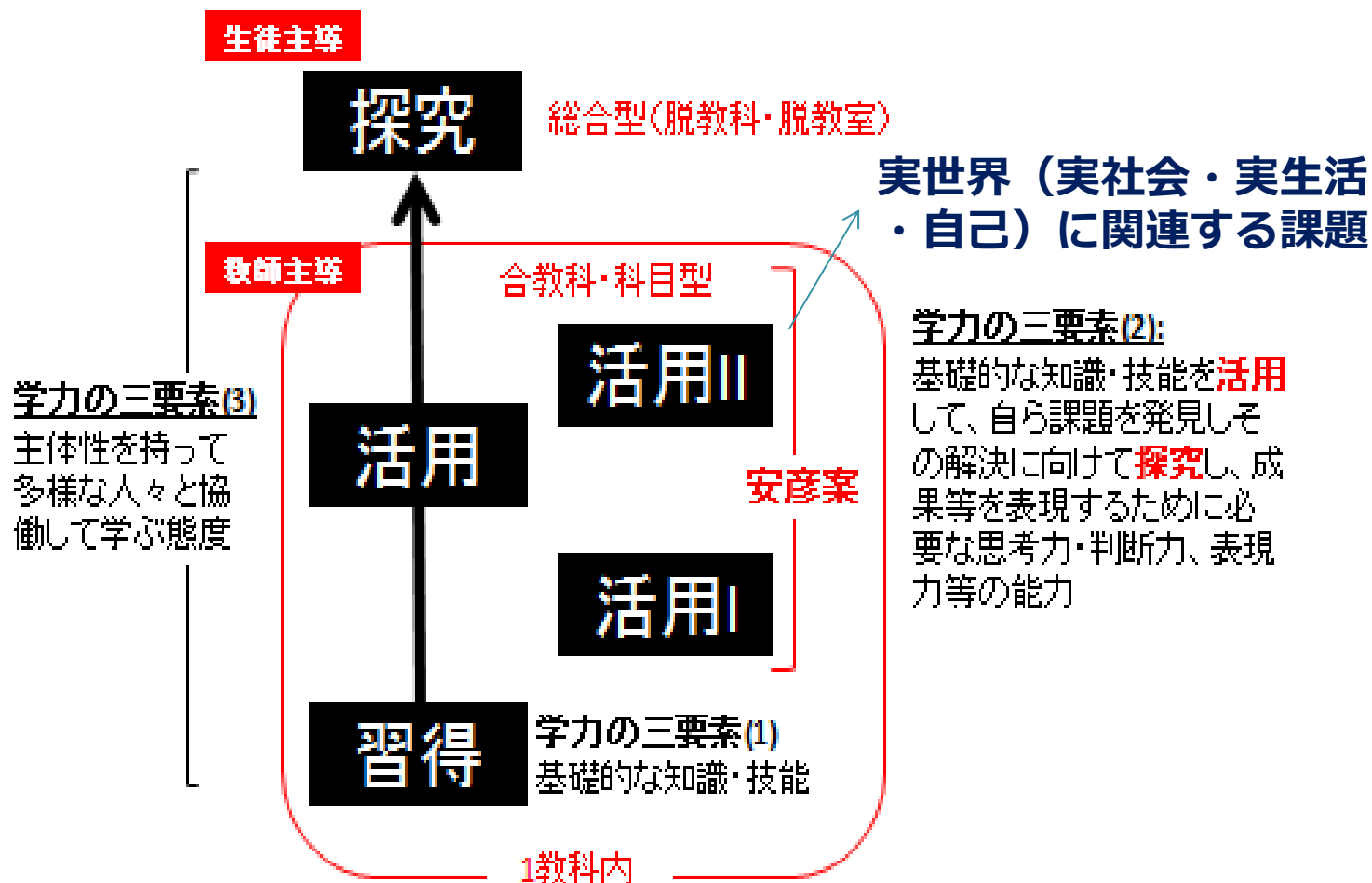
個人で整理
「わかった！」

いかにして個人の学びに落とし込むか

★どこでどのALをのせるか・・・目的に合わせて
ペアワークか、グループワークか、発表か等

★本校の学習デザインシートをWEBにて公開中です
⇒<http://toin.ac.jp/topics/information/9278/>

ここまでの実践から見えてきた AL型授業のポイントー習得から活用Ⅱ問題へ



昨年度の振り返りを生かしスタート 2017年度高校3年生対象「古文」

将来社会に出てからのどんな「力」に繋がるかな？

生徒が古文を学ぶ意味を自らで見出してほしいなあ。

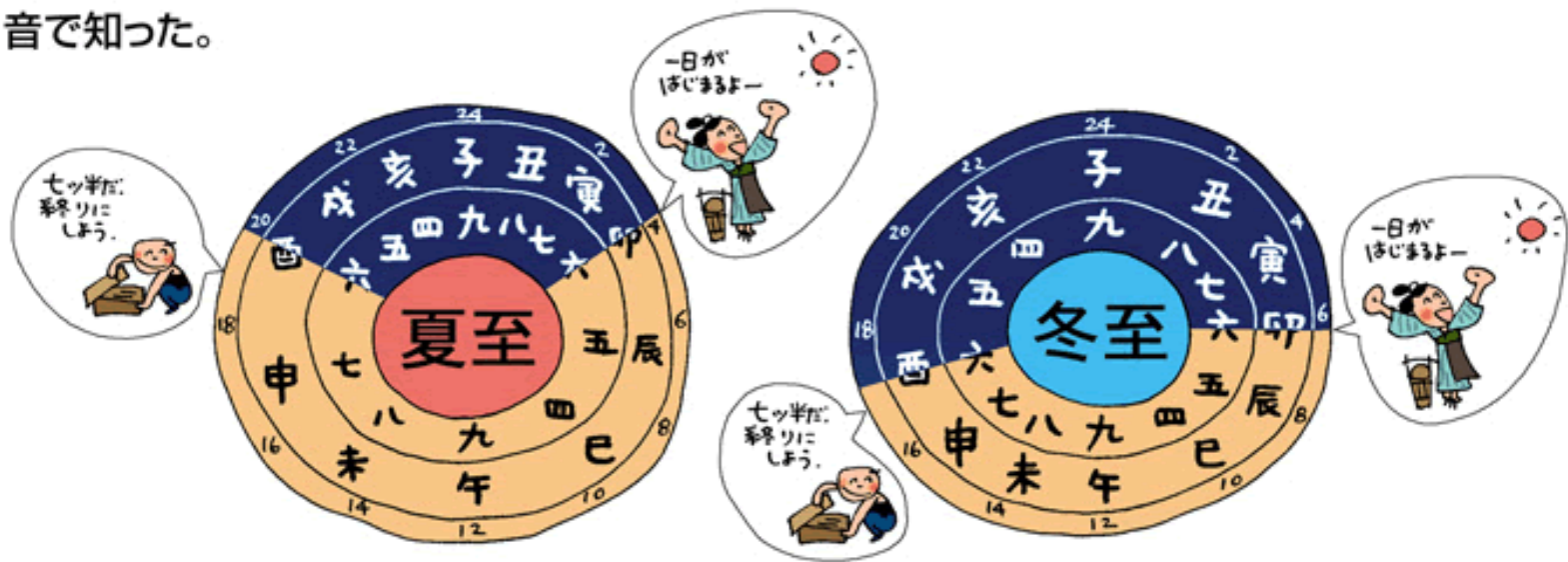
ここで必要な知識やスキルって何だろう？

日長きころなれば、
追風さへ添ひて、
まだ申の刻ばかり
に、かの浦に着き
たまひぬ。

（『源氏物語』 「須磨」）

古典の時間—不定時法

常に日の出のおよそ30分前を明け六つ、日没のおよそ30分後を暮れ六つとしたこの不定時法では、一刻の長さが、昼と夜で、また季節によっても違って来る。しかし、江戸の人々の生活にはそれで何の不便もなかった。人々はこうした時刻を、各地に設けられた時の鐘の音で知った。



最終授業のリフレクションから

- ・グループワークでも何が分からないかをあげ、順を追って整理するうちに、だいぶ見通しがよくなった。自分の中でも、「**問いかけ—答え**」で**頑張る**。
- ・ひとりでグループワークをした気分でした。
- ・自分の意見を説得力をもってアピールしつつも相手の話をよく聞いて、全員の納得する結論を導き出すこと、そして**そのような雰囲気**を醸成**できる人材が大事**だと思った。⇒この生徒は？

学力の3要素&生徒・学校の実態を踏まえ 学びと成長を見据えた教育改革へ



アフター
スクール

カリキュラムデザイン
カリキュラムマネジメント

アクティブラーニング型授業

一人ひとりが確かな学力をつけられる

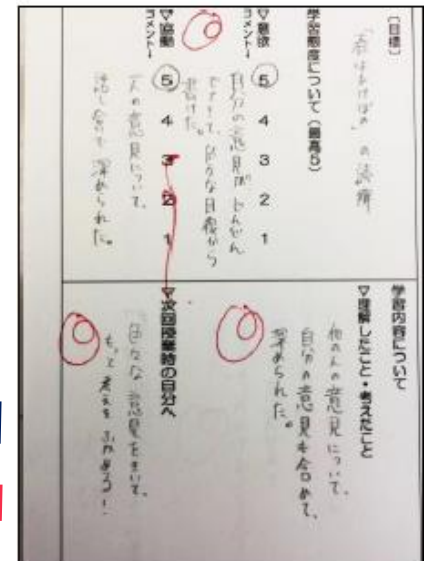
まず「個」の学習
「わかった」と思うけど…



「協働」の学習
「あ、そうか!」「なるほど」



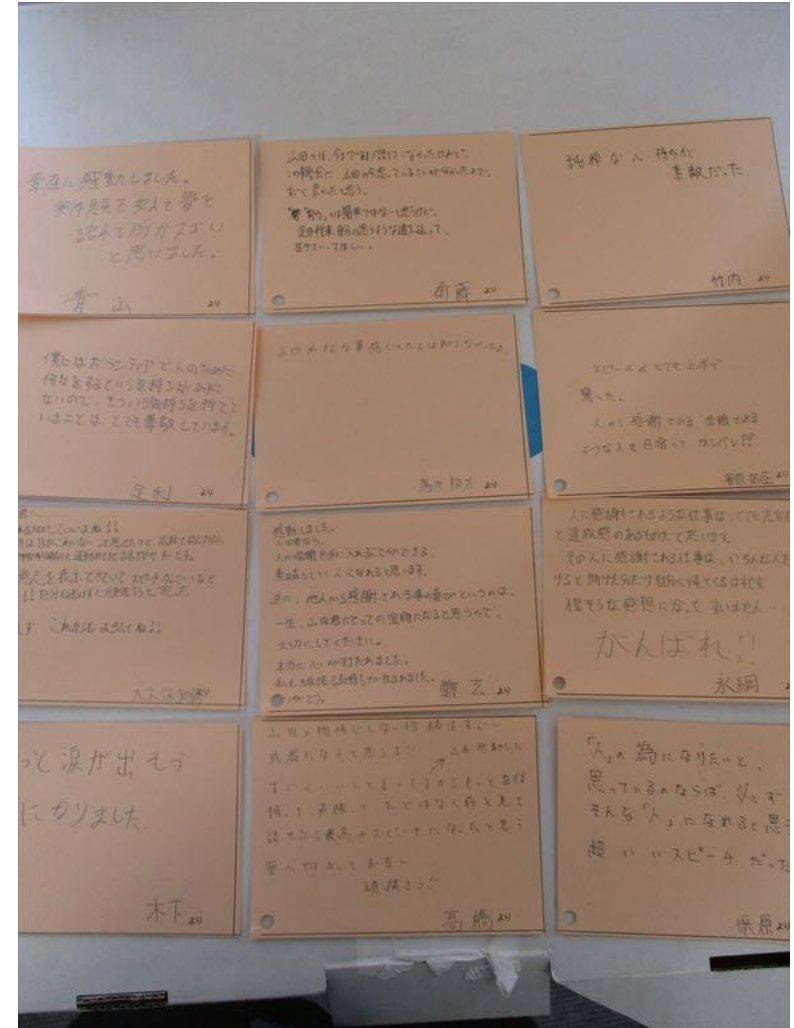
最後に「個」
「わかる。大丈夫だ!」



朝のSHR～1分間スピーチ



将来の展望と、
そのために今やること



キャリア教育

Planned Happenstance

Theory (by John D. Krumboltz)

人のキャリアの80%は偶然の出会い・
予期せぬ出来事によってつくられていく



「偶然の出会い」を
「よい出会い」に変えることが大切

“偶然の出会い”を“よい出会い”に～キャリアイベント～

ジョブシャドウイング

- 半日～1日、働く大人に**密着**！
- **業務見学**＋**業務体験**＋**本音トーク**

研究室シャドウイング



ジョブシャドウイング～高校1年



未来への扉（探究）の流れ

STEP 1

1. 課題を設定する
2. 情報を収集する
3. 整理・分析する
4. まとめる

STEP 2

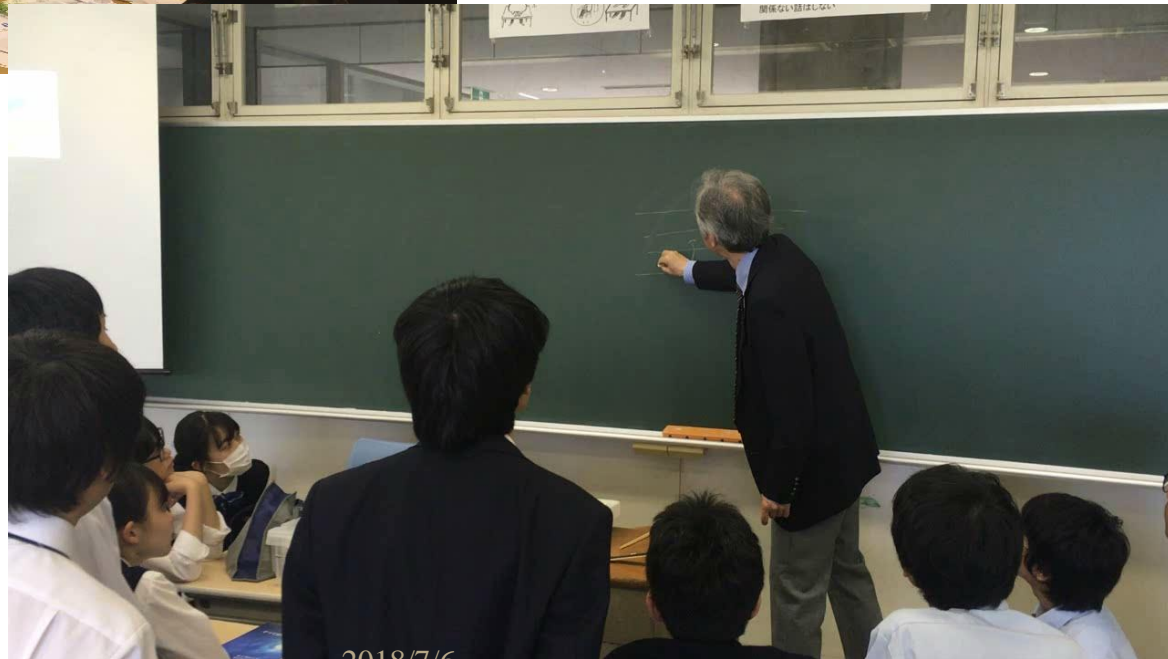
興味・関心に基づいて研究する

STEP 3

発表する

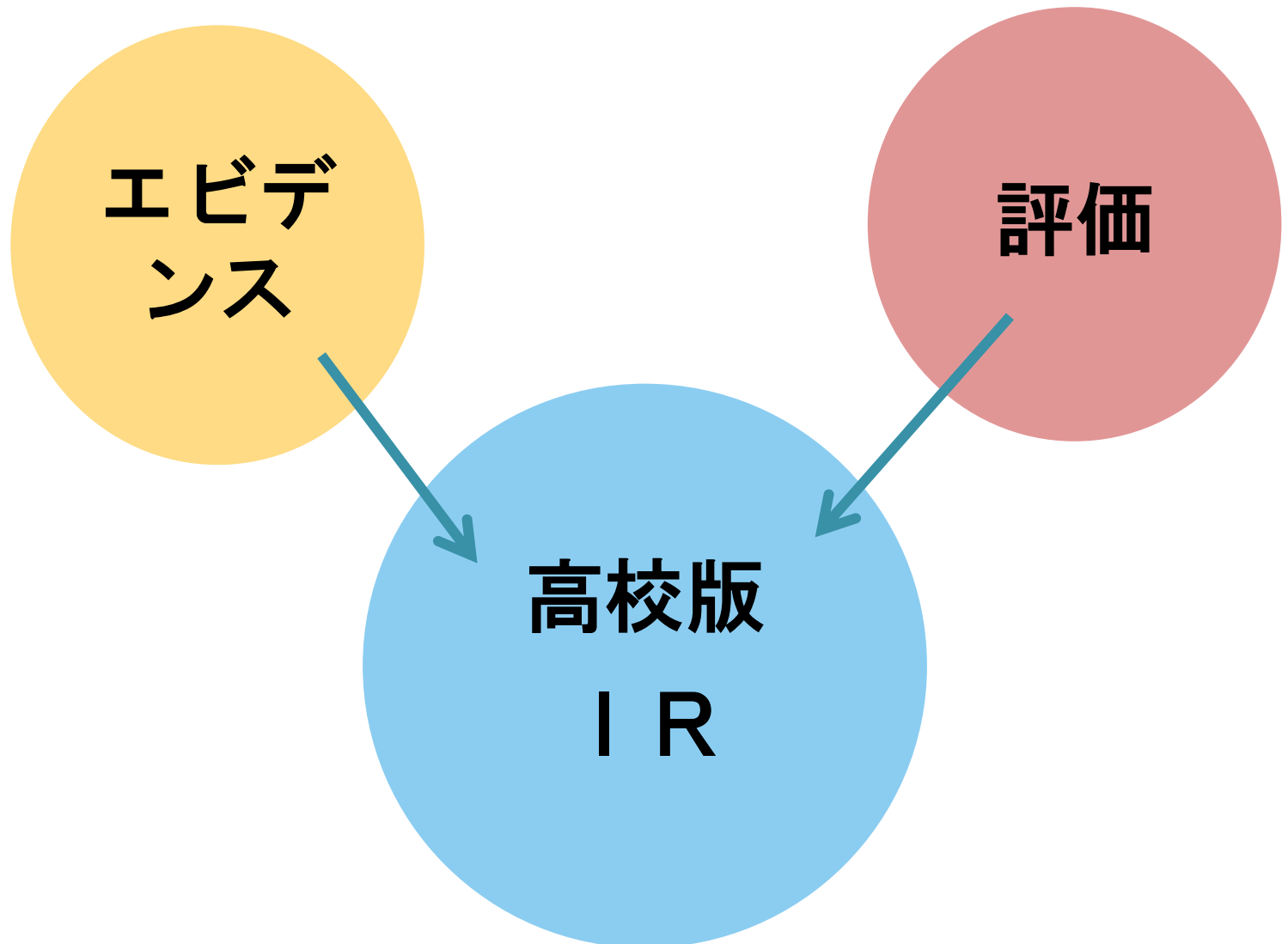
高校1～2年次：週1時間の授業
チームティーチングで展開中

高大連携企画

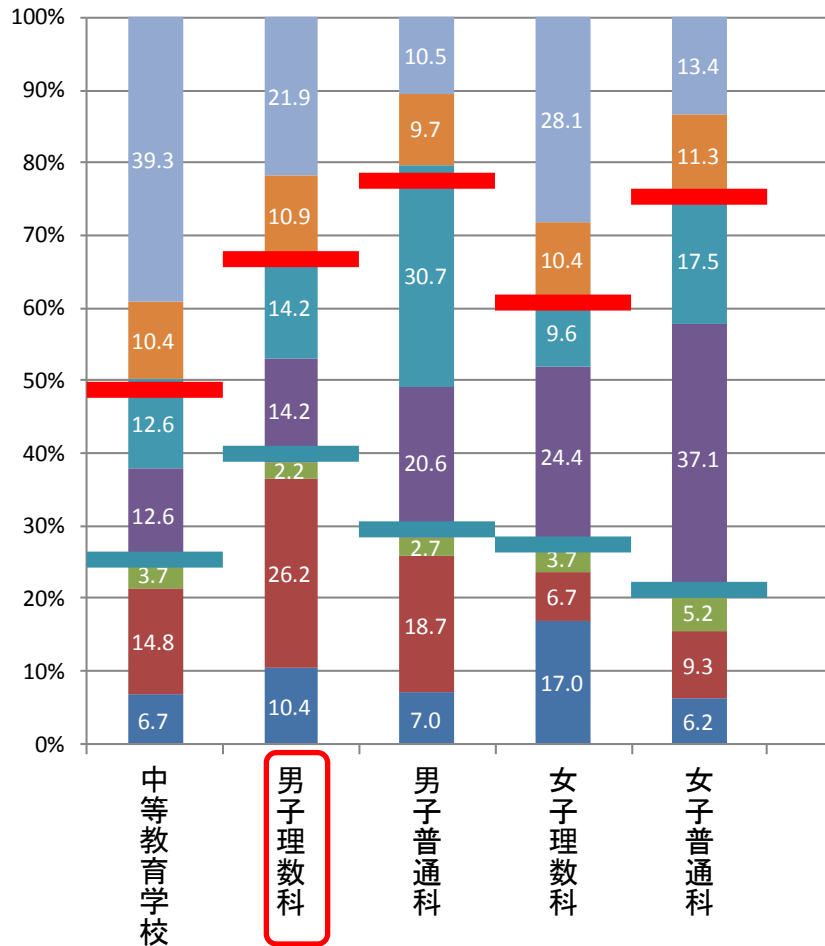


2018/7/6

教育活動のアセスメント



大学生になっての学びと成長を予測する「生徒タイプ」 (LEADS)



生徒タイプ

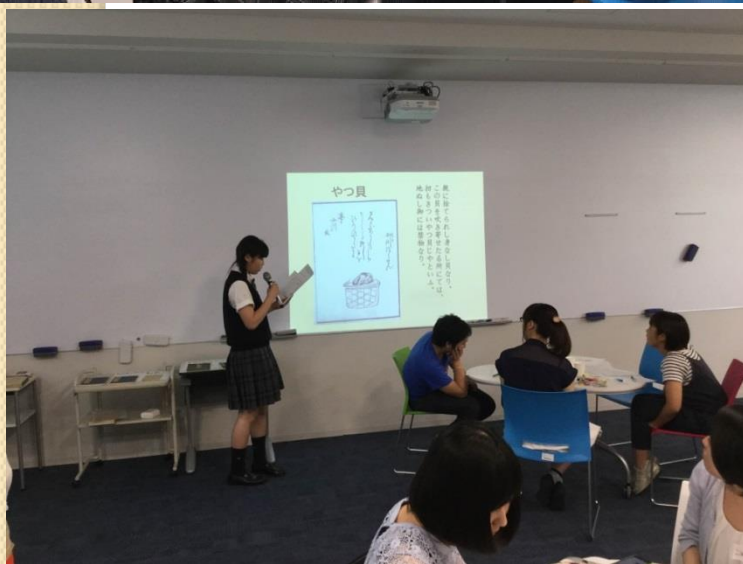
- 勉学タイプ
- 勉学ほどほどタイプ
- 部活動タイプ
- 交友通信タイプ
- 読書マンガ傾向タイプ
- ゲーム傾向タイプ
- 行事不参加タイプ





さらなる学びと成長へ ～様々な越境体験を

大学生になってからの力強い 学びと成長に繋がるか



「わくわく♪日本文学ワークショップ
8大学合同」

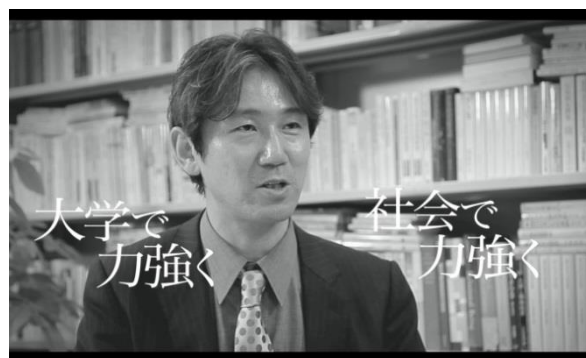
@成蹊大学 2016. 8.2

大学生になってからの力強い 学びと成長に繋がるか



「わくわく♪日本文学ワークショップ
8大学合同」
@駒澤大学 2017.9.17

これからも全学でAL型授業を核にした 学校改革を



**YouTube【改革2年目のさらなる進化】
桐蔭学園アクティブラーニング型授業の改革**

◆下記からご覧になれます。

<https://www.youtube.com/watch?v=Mkd8VIikJ-U>

ご清聴ありがとうございました。